

ペットプロデュース学科			
前期/授業予定回数：14週（1授業180分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	山谷 佳奈 石井 さより 井上 麻弥子		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<学園認定グルーマーライセンス> 科目の必要性・業界での必要性 道具、犬の正しい扱いを理解し、グルーミングを習得する。 授業の特徴 犬を使用したトリミング実習 授業の進め方 トリミング作業の基本の流れ、心構え、技術を段階的に学ぶ。 また、道具の手入れと日替わりで掃除当番が当たる。 ※この科目は、トリミングサロンの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。		目標取得資格名<動物看護師統一認定試験> 科目の必要性・業界での必要性 授業の特徴 授業の進め方	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：オリエンテーション ・実習質の使用法、掃除の内容、手順 ・トリミング用品の扱い方、注意点、手入れ方 ・シザー練習、ウィッグカット ・犬の扱い方と接し方、注意事項 ・グルーミング実演 （爪切り、耳掃除、ブラッシング等手順を学ぶ） 第2週～第13週 ・グループ実習 小型のグルーミング犬種を2～3人で1頭 所定の時間内でグルーミングする ・数人グループで大型犬のグルーミング ・犬の保定方の習得 ・道具の手入れ ・教室の清掃 ・順に一人手1頭のグルーミング （グルーマーライセンス実技練習） 第14週：経専学園認定グルーマーライセンス実技			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科			
前期/授業予定回数：14週（1授業90分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	大野 富美		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<u>目標取得資格名</u> <u>科目の必要性・業界での必要性</u> 躰の観点から犬の性質を理解し、犬と接したり躰をする際の基礎を身に付ける		<u>目標取得資格名</u> <u>科目の必要性・業界での必要性</u>	
<u>授業の特徴</u> 知識を修得し、実際に犬に触れる際に実際できるように学ぶ		<u>授業の特徴</u>	
<u>授業の進め方</u> 座学で修得した知識を実習で実践する		<u>授業の進め方</u>	
※この科目は、ドッグトレーニングの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：犬について<犬の社会性、種類 第2週： 社会化期について> 第3週：環境馴致について 第4週：犬の性格 第5週：しつけについて。意味、方法、道具 第6週：家に迎えてからのしつけ トイレ、食糞、散歩、タッチングなど 第7週： 〃 第8週：犬の感情表現、攻撃の原因 第9週： 〃 第10週： 第11週：イベント参加に伴う振替休日 第12週：前期の復讐 第13週：定期試験 第14週：解答			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科			
前期/授業予定回数：13週（1授業90分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	青木 美帆		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<u>目標取得資格名</u> <u>修得目標</u> ・動物の形態と機能を理解する。 <u>授業の特徴</u> ・座学 <u>授業の進め方</u> ・毎回復習プリントを作成し理解を深めるよう実施する ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。		<u>目標取得資格名</u> <u>科目の必要性・業界での必要性</u> <u>授業の特徴</u> <u>授業の進め方</u>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：細胞・骨 第2週：歯 第3週：筋肉 第4週：視覚 第5週：味覚 第6週：聴覚 第7週：嗅覚 第8週：消化器系 第9週： 〃 第10週：呼吸器・循環器 第11週：泌尿器 第12週：定期試験 第13週：解答と解説			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科			
前期/授業予定回数：14週（1授業90分）		後期	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	山谷 佳奈		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名＜校内グルーマーライセンス（筆記）＞</p> <p>習得目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グルーミングで必要な基礎知識を習得する。 <p>授業の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グルーミング作業をスムーズに行う為、道具の扱い方や犬の体のづくり、用語を学ぶ。 <p>授業の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座学。グルーマーライセンス取得に向けて授業を進め、トリミング実習の状況を見ながら補足していく。 <p>※この科目は、トリミング中の実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：グルーミングの必要性 第2週：道具の名称と使い方 第3週：犬体名称 第4週： 〃 第5週：犬の扱い方と犬体チェック 第6週：グルーミング用語と作業の確認 第7週： 〃 第8週：皮膚・被毛の構造と役割 第9週： 〃 第10週：犬体用語 第11週：犬種別のグルーミング 第12週： 〃 第13週：前期定期試験 第14週：前期定期試験解答			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科			
前期/授業予定回数：12週（1授業90分）		後期/授業予定回数： 週/ 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	石井 さより		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<グルーマーライセンス> 修得目標 犬の起源、分類、特徴など、これから学ぶ『犬』という生き物全てに共通する項目を勉強する。 犬に関する基礎を学ぶ 授業の特徴 『犬』に共通する身体の作り、全犬種の基本の特徴を画像を多く使用し学ぶ。 授業の進め方 座学。画像を多く使用し、特に多い場合はスライドを使用する。 ※この科目は、トリミングサロンでの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。		目標取得資格名<なし> 修得目標 授業の特徴 授業の進め方	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：犬の起源について① 第2週：犬の起源にについて② 第3週：犬の身体に関する基礎知識① 第4週：犬の身体に関する基礎知識② 第5週：歯について（歯式、咬合） 第6週：犬種グループについて 第7週： " " 第8週：犬種グループについて 第9週：ドッグショーについて 第10週： " " 第11週：定期試験 第12週：定期試験解答週			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科			
前期/授業予定回数：14週（1授業90分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
サービス接遇検定 受験ガイド 3級	霜鳥 ゆみ		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<サービス接遇検定3級> 科目の必要性・業界での必要性 接客サービスを必要とする動物業界に勤務する上で必要となる、挨拶やマナー・立ち振る舞いを身に付けると同時にサービス接遇検定3級の合格を目指す 授業の特徴 座学授業 授業の進め方 説明→練習問題→解答・解説		目標取得資格名<動物看護師統一認定試験> 科目の必要性・業界での必要性 授業の特徴 授業の進め方	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 4/16：サービススタッフの資質 ・ 4/23：対人技能①◆人間関係 ◆接遇知識 ・ 5/7：対人技能②◆話し方 ◆服装 ・ 5/14(2.3)：実務技能①◆問題処理 ◆環境整備 ・ 5/14(6.7)：実務技能②◆金品管理 ◆社交教務 ※6/11分前倒し ・ 5/21(2.3)：検定対策 ・ 5/21(6.7)： " ※6/18分前倒し ・ 5/28(2.3)： " ・ 5/28(6.7)： " ※6/25分前倒し ・ 6/4(2.3)： " ・ 6/4(6.7)： " ※7/9分前倒し ◎検定対策問題を定期試験とする <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期試験週：ビジネスマナー① ・ 解答週間：ビジネスマナー② 			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科			
前期/授業予定回数：14週（1授業45分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
・愛玩動物飼養管理士 オリジナルプリント	高橋 大 青木 美帆		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 <愛玩動物飼養管理士2級> 修得目標 愛玩動物飼養管理士2級の取得を目指し、動物に関わる職業人としての役割や意義、動物の生体生理、関連法律について学び、業界就職後に活かすことのできる知識を学ぶ 授業の特徴 ・テキストやオリジナルプリントを使用し動物に関する法律や手続きについて学ぶ 授業の進め方 ・説明だけではなく、様々な資料等でわかりやすい工夫を取り入れた講義とする			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：愛玩動物飼養管理士の社会活動① 犬とは 第2週：愛玩動物飼養管理士の社会活動② 猫とは 第3週：動物愛護論① 解剖生理 第4週：動物愛護論② 繁殖 第5週：動物愛護論③ 歴史 第6週：人と動物の関係学① 抗体と免疫 第7週：人と動物の関係学② 消毒薬 第8週：人と動物の関係学③ 環境衛生 第9週：動物関係法令概説① 飼育管理と血統書 第10週：動物関係法令概説② エキゾチックアニマル 第11週：動物関係法令概説③ 行動学 第12週：動物関係法令概説④ 第13週：定期試験 第14週：解答週			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点 (授業態度) 100% ±10点			

ペットプロデュース学科			
前期/授業予定回数：14週（1授業45分）		後期/授業予定回数：週（1授業分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
なし	高橋 大	なし	
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<なし> 科目の必要性・業界での必要性 就職内定を獲得する為、業界の現状及び社会人として必要とされる知識等を取得する。		目標取得資格名<なし> 科目の必要性・業界での必要性	
授業の特徴 ペット業界への就職までの流れを理解し、就職活動を円滑に行うための準備をする。		授業の特徴	
授業の進め方 マニュアル、プリント、パワーポイントを用いて説明する。		授業の進め方	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週 ☆ 授業内容説明 ☆ 就職調書の作成 第2週 ☆ ペット業界説明・就職までの流れ 第3週 ☆ 働くことの意義について ☆ 自己目標の実現のために必要なこと 第4週、第5週 ☆ 職種の説明 第6週、第7週、第8週 ☆ 業種別特長説明（トリミングサロン） ☆ 業種別特長説明（ペットショップ） ☆ 業種別特長説明（動物病院） 第9週、第10週、第11週 ☆ 専門用語・接客用語・一般常識 第12週 ☆ 現場研修の必要性とその意義 ☆ 現場で求める人間像 第13週 ☆ 定期試験 第14週 解答、インターンシップ企業の選択について			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科			
前期/授業予定回数：14週（1授業45分）		後期/授業予定回数：週/週（1授業分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	石井 さより 青木 美帆		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<なし> 修得目標 ・必要事項の連絡 ・クラスコミュニケーション（面談含む） 授業の特徴 ・座学 授業の進め方 ・クラス全体で伝達事項や懸案事項を検討する		目標取得資格名<なし> 修得目標 授業の特徴 授業の進め方	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：オリエンテーション 第2週：学校生活について 第3週：業界施設見学について 第4週：道内研修旅行について 第5週： // コース選択について 第6週： // 第7週：JAKイベント参加準備について 第8週：合同企業説明会・運動会について 第9週：運動会・ドッグショーについて 第10週：夏休みの過ごし方・宿題について 第11週：夏休みの過ごし方・宿題について 第12週：後期授業について			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
出席率90%以上で修得とする。		出席率90%以上で修得とする。	

ペットプロデュース学科/動物看護師科 1年生			
前期/授業予定回数： 12週（1授業90分）		後期/授業予定回数：週（1授業分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
応用動物看護学3 インターズー 他 配布資料有り	皆上まゆ子		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 <認定動物看護師> 修得目標 犬や猫の種としての行動様式特徴を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する。 授業の特徴 動物病院で質問されること、問題になることを中心に。 授業の進め方 難しい内容も楽しく。 ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週 ◇動物行動学の基礎 生得的・習得的 第2週 ◇個体維持行動 第3週 摂食、飲水、排泄、身づくろい、休息 第4週 ◇発達過程：ステージごとの特徴 第5週 ◇社会行動生殖行動、コミュニケーション 第6週 親和行動、攻撃行動 第7週 ◇学習理論 馴化、感作、脱感作、消去 第8週 古典的条件付け、オペラント条件付け 第9週 ◇問題行動：定義、要因 第10週 治療法、予防、よくある相談 第11週 試験実施 第12週 試験の解答・解説			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科/動物看護師科 1年生			
前期/授業予定回数：12週（1授業45分）		後期/授業予定回数：週（授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
動物看護の教科書第3巻 緑書房 他 配布資料有り	皆上 まゆ子		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 <認定動物看護師> 修得目標 概論：獣医療の歴史や看護師の職業倫理について学び専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する。 福祉・倫理：動物愛護や福祉およびその基礎となる生命倫理の考え方について学ぶ。 授業の特徴 診療現場での実例、対応を考えながら学ぶ。 授業の進め方 難しい内容も、楽しく。 ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。		目標取得資格名 <認定動物看護師> 修得目標 授業の特徴 授業の進め方	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：◇動物福祉の概念を理解する 第2週：◇動物の愛護とは何かを理解する 第3週：・動物福祉の考え方を理解する 第4週：・近代および現代の動物愛護運動について 第5週：・「動物の権利」、「動物の福祉」思想について ・西欧と日本における動物福祉の考え方 第6週：◇日本の動物の愛護および管理に関する法律について理解する・動物愛護管理法 第7週：◇獣医療の現場で直面する生命倫理について理解する 第8週：・獣医療における倫理、ペットロスについて、安楽死 第9週：◇動物保護施設（アニマルシェルター）収容動物福祉について理解する 第10週：・動物保護施設の役割・収容される動物の福祉 第11週：【試験実施】 第12週：【解答&解説】			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験	平常点（授業態度）		
100%	±10点		

ペットプロデュース学科/動物看護師科 1年生			
前期/授業予定回数：15週（1授業90分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
動物看護の教科書6巻	青木 美帆		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<認定動物看護師></p> <p>取得目標</p> <p>検査学：様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を修得する。</p> <p>検査実習：検体検査および生体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する。</p> <p>授業の特徴</p> <p>検体、検査機器を用いた実習授業</p> <p>授業の進め方</p> <p>理解力を確認しながら座学と実習で進める。</p> <p>※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>第1週：顕微鏡の名称と使用方法</p> <p>第2週：復習</p> <p>第3週：復習</p> <p>第4週：便の正常と異常</p> <p>第5週：復習</p> <p>第6週：採便方法</p> <p>第7週：復習</p> <p>第8週：便検査（直接法）</p> <p>第9週：便検査（浮遊法）</p> <p>第10週：復習</p> <p>第11週：復習</p> <p>第12週：復習</p> <p>第13週：総復習（問診についても考える）</p> <p>第14週：定期試験解（筆記試験＋実技試験）</p> <p>第15週：解答</p> <p>※上記日程・内容については、 検体確保等の理由により変更することがある</p>			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
<p>素点 + 平常点（授業態度）</p> <p>100% ±10点</p>			

ペットプロデュース学科/動物看護師科 1年生			
前期/授業予定回数：14週（1授業45分）		後期/授業予定回数：週（1授業分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
動物看護の教科書6巻	霜鳥 ゆみ		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<認定動物看護師> 習得目標 飼主様や院内スタッフとのコミュニケーションの基礎を身に付ける 授業の特徴 座学と実演 授業の進め方 座学と実演			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：コミュニケーションとは・あいさつ 第2週：第一印象 第3週：コミュニケーションスキルについて 第4週：バーバルコミュニケーション・ ノンバーバルコミュニケーション 第5週：パーソナルスペース 第6週：対人コミュニケーション 第7週：聴く姿勢 第8週：立ち居振る舞い 第9週：言葉遣い（若者ことば・社会人ことば） 第10週：敬語表現 第11週：定期試験 第12週：試験解答復習 ※コミュニケーションを目的としたワークも実施			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科/動物看護師科 1年生			
前期/授業予定回数：14週（1授業90分）		後期/授業予定回数：週（1授分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	青木 美帆		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<認定動物看護師></p> <p>修得目標</p> <p>看護学：犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な知識と手技を学び、身体検査や採血、投薬、輸液、輸血などについて理解する。</p> <p>看護実習：犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。</p> <p>授業の特徴</p> <p>座学、実習</p> <p>授業の進め方</p> <p>理解力を確認しながら実習を行う</p> <p>※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>第1週：動物看護師業務について・実習注意</p> <p>第2週：バイタルサイン</p> <p>第3週： 〃</p> <p>第4週： 〃</p> <p>第5週：調剤（内用・外用、薬剤用具）</p> <p>第6週：調剤（処方箋・カルテ用語について）</p> <p>第7週：調剤（調剤法）</p> <p>第8週：調剤（ 〃 ）</p> <p>第9週：調剤（薬袋について）</p> <p>第10週：調剤（投薬方法）</p> <p>第10週：おさらい（カルテを読み取り調剤）</p> <p>第11週：おさらい（ 〃 ）</p> <p>第12週：おさらい（ 〃 ）</p> <p>第13週：定期試験（筆記試験と実技試験）</p> <p>第14週：解答と解説</p> <p>※上記日程・内容については、 生体確保等の理由により変更することがある</p>			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
<p>定期試験 + 平常点</p> <p>100% ±10点</p>			

ペットプロデュース学科/動物看護師1年生			
前期/授業予定回数：15週（1授業90分）		後期/授業予定回数：週（1授業分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
応用動物看護学3巻	大森 吾貴彦		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<認定動物看護師></p> <p>修得目標</p> <p>エキゾチック動物の生態、飼育管理法、疾病について学ぶ。</p> <p>授業の特徴</p> <p>実際に動物に触れてから座学で注意点を学ぶ。</p> <p>授業の進め方</p> <p>座学・実習</p> <p>テキスト、プロジェクター、板書を用いて説明する。</p> <p>※この科目は、ペットショップでの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>		<p>目標取得資格名</p> <p>修得目標</p> <p>授業の特徴</p> <p>授業の進め方</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>第1週：うさぎの特徴について</p> <p>第2週：うさぎの生態について</p> <p>第3週：うさぎの飼育方法について</p> <p>第4週：うさぎの飼育方法について</p> <p>第5週：モルモットの特徴</p> <p>第6週：モルモットの生態</p> <p>第7週：モルモットの飼育方法</p> <p>第8週：モルモットの飼育方法</p> <p>第9週：ハムスターの特徴</p> <p>第10週：ハムスターの生態</p> <p>第11週：ハムスターの飼育方法</p> <p>第12週：ハムスターの飼育方法</p> <p>第13週：おさらい</p> <p>第14週：定期試験</p> <p>第15週：解答・解説</p>			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
<p>定期試験 + 平常点 (授業態度)</p> <p>100% ±10点</p>		<p>定期試験 + 平常点 (授業態度)</p> <p>100% ±10点</p>	

ペットプロデュース学科/動物看護師科 1 年生			
前期/授業予定回数：12週（1授業90分）		後期/授業予定回数：週（1授業分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
動物看護の教科書第5巻	青木 由徳		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<認定動物看護師></p> <p>修得目標</p> <p>外科学：外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する。</p> <p>外科実習：手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命などの動物外科学で学んだ知識の実践力を修得する。</p> <p>授業の特徴</p> <p>現場で実際に使用する器具・器材を使い実践感覚で器具の名称や扱い方を習得</p> <p>授業の進め方</p> <p>理解力に合わせ、座学と実習を組み合わせを行い、実践感覚を身につける。</p> <p>※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>		<p>目標取得資格名<></p> <p>習得目標</p> <p>授業の特徴</p> <p>得</p> <p>授業の進め方</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>第1週：外科手術の目的と基本的概論 消毒・滅菌の概論及び無菌的操作の習得①</p> <p>第2週：消毒・滅菌の概論及び無菌的操作の習得②</p> <p>第3週：外科器具・器材の名称と使用方法を習得①</p> <p>第4週：外科器具・器材の名称と使用方法を習得②</p> <p>第5週：術前準備① 手術準備のための滅菌・消毒</p> <p>第6週：術前準備② 外科内容に応じた準備</p> <p>第7週：術前準備③ 挿管・モニター等の麻酔管理 術後の後片付け</p> <p>第8週：縫合糸と縫合法 止血法 術中の対応①</p> <p>第9週：縫合糸と縫合法 止血法 術中の対応②</p> <p>第10週：前期総括</p> <p>第11週：定期試験</p> <p>第12週：定期試験解答解説</p>			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点 (授業態度) 100% ±10点		素点 + 平常点 (授業態度) 100% ±10点	

ペットプロデュース学科/動物看護師科 1 年生			
前期/授業予定回数：15週（1授業90分）		後期/授業予定回数：15週（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
基礎動物看護学3	太田 圭亮		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名 <認定動物看護師> 修得目標 寄生虫の分類、生物学的特性、伝搬様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎を修得する、感染防御に関わる免疫学の基礎についても学ぶ。 授業の特徴 座学 授業の進め方 座学</p> <p>※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>		<p>目標取得資格名 修得目標 授業の特徴 授業の進め方</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：寄生虫とは 第2週：鞭虫・鉤虫 第3週：回虫 第4週：犬小回虫・アニサキス 第5週：フィラリア 第6週： 〃 第7週：糞線虫・蟯虫 第8週：東洋眼虫・東洋住血線虫 第9週：条虫総論・マンソン裂頭条虫 第10週：瓜実条虫・猫条虫 第11週：多包条虫・日本海裂頭条虫 第12週：吸虫類総論・肝蛭 第13週：横川吸虫・壺形吸虫 第14週：定期試験 第15週：回答・解説			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験±平常点 100% ±10点			

ペットプロデュース学科/統一動物看護師1年生			
前期/授業予定回数： 13週（1授業90分）		後期/授業予定回数：	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
基礎動物看護学3	伊東 登		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 <認定動物看護師> 習得目標 微生物の種類、生物学的特性、伝搬様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎を修得する。感染防御に関わる免疫学の基礎についても学ぶ。 授業の特徴 座学 授業の進め方 座学、ビデオ、プリント		目標取得資格名 <認定動物看護師> 習得目標 授業の特徴 座学 授業の進め方 座学	
授業進行計画		授業進行計画	
第1週： 感染症とは、感染経路 第2週： 微生物の種類（概論） 第3週： 滅菌と消毒 第4週： ウイルスの形態と構造 第5週： 狂犬病 ： 犬ジステンパー 第6週： 犬アデノウイルス2型感染症 ： 犬伝染性肝炎、犬パルボウイルス 第7週： 犬ヘルペスウイルス、犬コロナウイルス ： 犬伝染性気管支炎（ケンネルコフ） 第8週： 猫汎白血球減少症、猫ウイルス性鼻気管炎 ： 猫カリシウイルス感染症 第9週： 猫の後天性免疫不全症（猫エイズ病） ： 猫伝染性腹膜炎、猫白血病 第10週： ワクチンとは ： ワクチンの種類と特徴 第11週： 犬のワクチネーション 猫のワクチネーション 第12週： 定期テスト 第13週： 解答。解説			
成績評価方法		成績評価方法	
定期試験＋平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科/動物看護師科 1年生			
前期/授業予定回数： 13週（1授業45分）		後期/授業予定回数： 週（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	伊藤 航		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<認定動物看護師> <u>科目の必要性・業界での必要性</u> 動物看護の過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を習得する。</p> <p><u>授業の特徴</u> 座学</p> <p><u>授業の進め方</u> 座学</p> <p>※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：動物看護とは 第2週：痒みに対する看護① 第3週：痒みに対する看護② 第4週：疼痛に対する看護① 第5週：疼痛に対する看護② 第6週：排便異常に対する看護① 第7週：排便異常に対する看護② 第8週：排尿異常に対する看護① 第9週：排尿異常に対する看護② 第10週：呼吸異常に対する看護①② 第11週：高齢犬に対する看護①② 第12週：まとめと評価試験 第13週：解答			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験＋平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科

前期/授業予定回数：/14（1授業360分）		後期/授業予定回数：/ 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	岩元 奈穂		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<経専学園認定グルーマーライセンス></p> <p>習得目標</p> <p>道具の扱いを理解し、グルーミングを習得する。</p> <p>授業の特徴</p> <p>トリミング作業の基本とトリマーとしての心構え、技術とそれに伴う掃除野方法を学ぶ。</p> <p>授業の進め方</p> <p>トリミング作業の基本の流れ、トリマーとしての心構え、技術を段階的に学ぶ。</p> <p>また、自分の道具の手入れと日替わりで掃除当番が当たる。</p> <p>※この科目は、トリミングサロンの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>第1週 【オリエンテーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習室の使用方法、掃除の内容、手順 ・トリミング用品の扱い方、注意点、手入れ法 ・シザー練習、ウィック、リボン作り・付け ・犬の扱い方と接し方、注意事項 ・グルーミング実演講義 <p>(爪きり、耳掃除、ブラッシングなど手順を学ぶ)</p> <p>第2週～6週</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ実習 <p>小型のグルーミング犬種を2～3人で1頭 所定の時間内でグルーミングする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬の保定法の習得 ・ヒゲ切り、足周りのカット <p>第7週～第14週</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2人～1人で小型犬のグルーミングを行う ・中・大型犬のグルーミング 			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
トリミング実習評価表に基づく + 平常点			
100%		±10点	

ペットプロフェュース学科/トリマー・病院トリマー・ペットショップスタッフ			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数：14週（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
			太田 圭亮
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 取得目標 授業の特徴 授業の進め方		目標取得資格名 修得目標 犬猫などを取り扱うプロとして必要な看護関連の知識を得る 授業の特徴 座学 授業の進め方 座学 ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週：メディカルチェック 第2週：犬猫に多い病気について 第3週： " 第4週：感染症・伝染病について 第5週：狂犬病について 第6週：予防注射について 第7週：消毒について 第8週：寄生虫について 第9週：マダニについて 第10週：ノミについて 第11週：犬猫に与えてはいけないもの 第12週：よく見る病気・外耳炎について 第13週：定期試験 第14週：試験解答・解説	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		定期試験 ± 平常点 100% ± 10点	

ペットプロデュース学科			
前期/授業予定回数：14週（1授業45分）		後期/授業予定回数：15週/（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
なし	高橋 大	なし	高橋 大
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 <なし> 科目の必要性・業界での必要性 就職内定を獲得する為、業界の現状及び社会人として必要とされる知識等を取得する。		目標取得資格名 <なし> 科目の必要性・業界での必要性 就職活動前に実施されるインターンシップを成功させるための指導を行う。	
授業の特徴 ペット業界への就職までの流れを理解し、就職活動を円滑に行うための準備をする。		授業の特徴 履歴書の意味、必要性を理解する。 ペット業界での実習の流れを理解し、インターンシップおよび就職活動を円滑に行うための準備をする。	
授業の進め方 マニュアル、プリント、パワーポイントを用いて説明する。		授業の進め方 マニュアル、板書、プリントを用いて説明する。	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週 ☆ 授業内容説明 ☆ 就職調書の作成 第2週 ☆ ペット業界説明・就職までの流れ 第3週 ☆ 働くことの意義について ☆ 自己目標の実現のために必要なこと 第4週, 第5週 ☆ 職種の説明 第6週, 第7週, 第8週 ☆ 業種別特長説明（トリミングサロン） ☆ 業種別特長説明（ペットショップ） ☆ 業種別特長説明（動物病院） 第9週, 第10週, 第11週 ☆ 専門用語・接客用語・一般常識 第12週 ☆ 現場研修の必要性とその意義 第13週 ☆ 現場で求める人間像 第14週 ☆ 定期試験 第15週, ☆ 解答、インターンシップ企業の選択について		第1週 ☆ インターンシップ研修について 第2週 ☆ 研修中における過去の事例・案件 第3週, 第4週, 第5週 ☆ 履歴書作成指導 第6週, 第7週, 第8週 ☆ 自己PR作成 第9週, 第10週, 第12週 ☆ 志望動機 第13週, 第14週 ☆ 就職活動時のメイク、服装 ☆ 就職活動写真撮影の指導 第15週 ☆ インターンシップ注意事項説明	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点		出席率90%以上で修得（定期試験は実施しない） ※90%未満の学生はレポート提出により単位認定	

ペットプロデュース学科			
前期/授業予定回数：15週（1授業45分）		後期/授業予定回数：15週（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
			石井 さより 青木 美帆
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<なし> 科目の必要性・業界での必要性 ・必要事項の連絡 ・クラスコミュニケーション（面談含む） 授業の特徴 ・座学 授業の進め方 ・クラス全体で伝達事項や懸案事項を検討する		目標取得資格名<なし> 科目の必要性・業界での必要性 ・必要事項の連絡 ・クラスコミュニケーション（面談含む） 授業の特徴 ・座学 授業の進め方 ・クラス全体で伝達事項や懸案事項を検討する	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：オリエンテーション 第2週：学校生活について 第3週：クラス目標について 第4週： " 第5週：ペットショップ見学について 第6週：道内研修旅行について 第7週： " 第8週：研修旅行について振り返り 第9週：運動会について 第10週： " 第11週： " 第12週：運動会振り返り・コース選択について 第13週：ドッグショーについて 第14週：夏休み・後期に向けて 第15週：夏休み宿題について		第1週：後期スタートに当たり 第2週：管理センター見学について 第3週： " 振り返り 第4週：個人面談 第5週： " 第6週： " 第7週： " 第8週： " 第9週： " 第10週： " 第11週： " 第12週：自主研修、冬休みの過ごし方について 第13週：定期試験について 第14週：大掃除 第15週：インターンシップについて	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
出席率90%以上で修得とする。		出席率90%以上で修得とする。	

ペットプロデュース学科/トリマー・病院トリマー・ペットショップスタッフ

前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数： 14週（1授業180分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		・最新ドッググルーミング マニュアル	井上 麻弥子 山谷 佳奈 他
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名	科目の必要性・業界での必要性	目標取得資格名	科目の必要性・業界での必要性
授業の特徴	授業の進め方	授業の特徴	授業の進め方
		<p><経専学園認定グルーマーライセンス> <日本社会福祉愛犬協会認定C級グルーマーライセンス></p> <p>ペット業界の日々新しい情報と変化し改良されていくトリミングの方法に対応していく為に必要なトリミング技術を向上させる。</p> <p>生きた新しい情報を取入れ、トリミングのスタンダードを基本とし、あらゆる犬種のトリミング知識と技術を学ぶ。</p> <p>スタンダードを理解させ、トリミングの方法・形を覚えるだけではなく、自分で考えてカットさせる力をつける。</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		<p>第1週～第14週</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経専学園認定グルーマーライセンス合格者は、日本社会福祉愛犬協会認定C級グルーマーライセンス合格に向けたカット練習 (カット犬種二人、又は一人1頭) ・不合格者は、次回のグルーマーライセンス合格に向けた実習 (グルーミング犬種一人一頭) <p>その他犬種別カット技法</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 短毛種 ② 長毛種・スピッツ種 ③ プードル ④ M・シュナウザー ⑤ 大型犬 など <p>グルーミング犬種の正確さと時間短縮を基本にトリミング技術の向上を目的とする。</p>	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		『トリミング実習評価表』に基づく	『トリミング実習評価表』に基づく
		100%	100%
			±10点

ペットプロデュース学科/トリマー・病院トリマー・ペットショップスタッフ			
前期/授業予定回数：週（1授業90分）		後期/授業予定回数：14週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		JKC 最新 グルーミングマニュアル	山谷 佳奈
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名<トリマーライセンス></p> <p>習得目標 ペット業界の日々新しい情報と変化し改良されていくトリミングの方法に対応していく為、トリミング技術を向上させる為、座学による頭で考えるトリミング知識を学ぶ</p> <p>授業の特徴 トリミングのスタンダードを基本とし、あらゆる犬種のトリミング知識と技術を学ぶ。</p> <p>授業の進め方 トリミングの方法を文字だけで覚え理解させるのではなく、形で理解してもらう為に犬体図や骨格図なども書き学習する。 ※この科目は、トリミングサロンでの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>	
授業進行計画		授業進行計画	
		<p>第1週 ◎トリミング学Ⅱで学ぶ事 ◎グルーミング、トリミングの考え方と姿勢 ・全ての作業の理由を考える ・正しい犬体を知り、犬の動きから学ぶ ・犬の扱い方と接し方</p> <p>第2週 ◎バリカンを使ったトリミング方法 ・バリカンの使い方・入れ方と注意点</p> <p>第3週～4週 ◎カットの方法と手順 ・犬質・犬の骨格を考えたトリミング方法</p> <p>第5週～6週 ◎犬種別カット技法 プードル ・ペットカット（テディーカット） 犬種らしさを引き出すトリミング技法</p> <p>第7週 ◎犬種別カット技法 ミニチュアシュナウザー ・ペットカット</p> <p>第8週 ◎犬種別カット技法 スイニング犬種 アメリカンコッカースパニエル</p> <p>第9週～11週 ◎犬種別カット技法 ペットカット ・ポメラニアン・マルチーズ・シーズー ・ヨーキー</p> <p>第12週～13週 ◎ブラッキングテリア種のトリミング方法 ・ブラッキングの基礎</p> <p>第14週 試験解答</p>	
成績評価方法		成績評価方法	
		<p>定期試験＋平常点（授業態度）</p> <p>100% ±10点</p>	

ペットプロデュース学科/トリマー・病院トリマー・ペットショップスタッフ			
前期		後期/授業予定回数：13週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		最新犬種図鑑	石井 さより
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<u>目標取得資格名</u> <u>科目の必要性・業界での必要性</u> ・犬の起源、分類、特徴などを学ぶことにより、犬の理解を深める <u>授業の特徴</u> 前期に『犬』を学んだ事を踏まえ、より詳しく『各犬種』ごとの起源、特徴、飼い方について学ぶ <u>授業の進め方</u> ・座学 ※この科目は、トリミングサロンでの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		【各犬種 犬種標準】 第1週：ダックスフンド 第2週： 〃 第3週：チワワ 第4週： 〃 第5週：パピヨン 第6週： 〃 第7週：ポメラニアン 第8週： 〃 第9週：ゴールデンレトリバー 第10週： 〃 第11週：柴 第12週： 〃 第13週：後期定期試験 第14週：後期定期試験解答	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		定期試験 + 平常点 (授業態度) 100% ±10点	

ペットプロデュース学科/トリマー科			
前期/		後期/授業予定回数：14週（1授業180分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		最新ドッググルーミング マニュアル	井上 麻弥子
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名 <経専学園認定グルーマーライセンス> <経専学園認定トリマーライセンス></p> <p>習得目標 就職に向け、トリマーライセンスの資格取得・コンテストでの入賞を目指し、技術の向上に励む。</p> <p>授業の特徴 ライセンスの取得・コンテスト入賞に向け、デッサン造形などを行い、犬体・骨格の理解を深め、カットのメリット、デメリットを考え、自らデザインを考える。</p> <p>授業の進め方 実習をメインとし、毎月1週は座学とする。 ※この科目は、トリミングサロンでの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>	
授業進行計画		授業進行計画	
		<p>実習</p> <p>経専学園認定グルーマーライセンス試験不合格者は次回のグルーマーライセンス格に向けた実習（グルーミング犬種一人1頭）</p> <p>経専学園認定グルーマーライセンス合格者はグルーミング犬種、グルーミングの時間短縮</p> <p>2年次の経専学園認定トリミングライセンス試験に向けたカット練習。（カット犬種一人又は二人で1頭）</p> <p>座学</p> <ul style="list-style-type: none"> 月に1週は座学とする 犬の犬体・骨格の動きを学ぶ 犬体・骨格の理解を目的とし描写、粘土造形などの授業を行う。 	
成績評価方法		成績評価方法	
		『トリミング実習評価表』に基づく + 平常点（授業態度）	
		100%	±10点

ペットプロデュース学科／トリマー科

前期/

後期/授業予定回数：14週（1授業90分）

使用テキスト名

科目担当講師

使用テキスト名

科目担当講師

井上 麻弥子

目標・特徴・必要性など

目標・特徴・必要性など

目標取得資格名

目標取得資格名

科目の必要性・業界での必要性

科目の必要性・業界での必要性

トリマーとして仕事をする為に必要な常識と知識を学び
接客力と対応力を学ぶ。

トリマーとしての仕事を学ぶ

授業の特徴

授業の特徴

実践で役に立つ行動や接客などがスムーズに出来るように学ぶ

授業の進め方

授業の進め方

座学、及び実習

※この科目は、トリミングサロンでの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。

授業進行計画

授業進行計画

- トリマーとして働く心構え
 - ・今後の進路と仕事
 - ・トリマーの必要性
 - ・トリマーとしての役割
 - ・生き物を扱う責任
 - ・犬を知ること、犬から学ぶこと
 - ・必要とされる人材
- トリマー業務
 - ・清掃・消毒
 - ・グルーミング、トリミング以外の業務
 - ・グルーミング・トリミング中のトラブル
 - ・犬の皮膚
 - ・シャンプー剤
 - ・付加サービス
- 接客
 - ・あいさつ・言葉づかい
 - ・電話対応
 - ・受付・オーダーのとりかた
 - ・カルテの書き方
 - ・クレーム対応

成績評価方法

成績評価方法

素点 + 平常点（授業態度）
100% ±10点

ペットプロデュース学科／病院トリマー・ペットショップスタッフ			
前期/		後期/授業予定回数：14週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
			大野 富美
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<u>目標取得資格名</u> <u>科目の必要性・業界での必要性</u> 飼い主の観点から犬の性質を理解し、飼い主様からの相談に答えられるようにする <u>授業の特徴</u> 知識だけではなく、実際に犬に触れてケースによって違う対応を身に付ける <u>授業の進め方</u> 実習犬を使い、犬にあった方法でしつけ、基礎訓練を身に付ける ※この科目は、ドッグトレーニングの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。	
授業進行計画		授業進行計画	
		第1週：問題行動について、具体例、対処法 第2週： 第3週： 第4週： 第5週： 第6週： 第7週： 第8週： 第9週： 第10週： 第11週： 第12週： 第13週： 第14週：後期定期試験 第15週：後期定期試験、解答	
成績評価方法		成績評価方法	
		定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科/ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数：14週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
			企業担当講師
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<u>目標取得資格名</u> <u>修得目標</u> <u>授業の特徴</u> <u>授業の進め方</u>		<u>目標取得資格名</u> <u>修得目標</u> ペットフードのメーカーごとの特徴などを理解する <u>授業の特徴</u> 各フードメーカー担当講師による講義 <u>授業の進め方</u> 座学 一部授業実習を実施	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週： 第2週： 第3週： 第4週： 第5週： フードメーカーと調整の上 第6週： 講義を実施 第7週： 第8週： ※メーカー毎の実施回数は 第9週： 異なる場合がある 第10週： 第11週： <u>各授業ごとにレポートの提出</u> 第12週： 第13週： 第14週：	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		出席率90%以上とレポート提出で修得とする。	

ペットプロデュース学科/ペットショップスタッフ			
前期/授業予定回数： 週（ 授業 分）		後期/授業予定回数：14週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		ペットビジネス プロ養成講座 ペットショップ基礎&実践	高瀬 リサ
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名< > 科目の必要性・業界での必要性 授業の特徴 授業の進め方		目標取得資格名<なし> 科目の必要性・業界での必要性 ペットショップでの就職を目指す上で必要な基礎知識および実践知識を学ぶ 授業の特徴 座学 授業の進め方 テキストに基づいて重点項目を解説	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週：ペット産業概論 ペットショップの職業倫理と法律① 第2週：ペットショップの職業倫理と法律② 第3週：ペットの歴史と生態、繁殖と遺伝 第4週：ペットの飼育と管理① 第5週：犬と猫の行動学としつけ 第6週：ペットの栄養学 第7週：ペット販売の仕事と流れ 第8週：ペットショップの販売に関する基礎知識① 第9週：ペットショップの販売に関する基礎知識② 第10週：店舗のオペレーションとマネジメント① 第11週：店舗のオペレーションとマネジメント② 第12週：ペットショップでの接客の基本と実際① 第13週：ペットショップでの接客の基本と実際② 第14週：定期試験 第15週：解答・解説	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		素点 + 平常点 (授業態度) 100% ±10点	

ペットプロデュース学科／ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数：14週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
			霜鳥 ゆみ
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名＜動物看護師統一認定試験＞ 科目の必要性・業界での必要性		目標取得資格名＜動物看護師統一認定試験＞ 科目の必要性・業界での必要性 接客や販売の仕事をする上での基礎、常識を学ぶ	
授業の特徴		授業の特徴 座学と実演	
授業の進め方		授業の進め方 座学と実演	
授業進行計画		授業進行計画	
		第1週：接遇の基本 第2週：あいさつ立ち居振る舞い 第3週：パーソナルスペース 第4週：バーバルコミュニケーション ノンバーバルコミュニケーション 第5週：言葉遣い① 第6週：言葉遣い② 第7週：金銭の管理 第8週：クレーム対応 第9週：アンガーマネージメント 第10週：電話対応① 第11週：電話対応② 第12週：カウンセリングマインド 第13週：ロールプレイ 【定期試験】 第14週：定期試験解答 まとめ	
成績評価方法		成績評価方法	
		定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科／病院トリマー科			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数：14週（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
			亀岡 彩人
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<u>目標取得資格名</u> ＜動物看護師統一認定試験＞ <u>科目の必要性・業界での必要性</u>		<u>目標取得資格名</u> <u>科目の必要性・業界での必要性</u> トリマーが動物病院で働くために必要な看護の知識や対応を学ぶ。	
<u>授業の特徴</u>		<u>授業の特徴</u> 実際に現場で応用できる看護学を中心に理解をしていく。	
<u>授業の進め方</u>		<u>授業の進め方</u> 座学 ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週：院内トリマーにとっての看護学の必要性 第2週：皮膚症状Ⅰ 第3週：皮膚症状Ⅱ 第4週：耳・目の症状Ⅰ 第5週：耳・目の症状Ⅱ 第6週：歯周病・肛門腺炎について 第7週：ケンネルコフ・てんかん症状 第8週：骨・関節症状 第9週：呼吸器・消化器系症状 第10週：生殖器系・糖尿病の症状 第11週：シャンプー療法 第12週：予防接種について 第13週：ペットフードの基礎知識 第14週：定期試験 第15週：試験解答・解説	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科／病院トリマー科			
前期/授業予定回数：週（1授業分）		後期/授業予定回数：14週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
			青木 美帆
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名</p> <p>修得目標</p> <p>動物病院で看護補助を行うための知識を学ぶ 便、尿、血液、画像検査等</p> <p>授業の特徴</p> <p>授業の区切りで小テストを実施し、理解度を深める</p> <p>授業の進め方</p> <p>座学・実習</p> <p>※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>	
授業進行計画		授業進行計画	
		<p>第1週：病院で行われる看護業務について</p> <p>第2週：消化器系の理解</p> <p>第3週：便の正常、異常</p> <p>第4週： 〃</p> <p>第5週： 〃</p> <p>第6週：消化器疾患について</p> <p>第7週： 〃</p> <p>第8週： 〃</p> <p>第9週：便検査の流れについて</p> <p>第10週： 〃</p> <p>第11週：復習</p> <p>第12週：定期試験</p> <p>第13週：解答と解説</p> <p>※当日使用できる検体によって内容は前後することもある。</p>	
成績評価方法		成績評価方法	
		<p>素点 + 平常点（授業態度）</p> <p>100% ±10点</p>	

ペットプロデュース学科/動物看護師1年生			
前期/授業予定回数：週（1授業分）		後期/授業予定回数：14週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		緑書房 エキゾチックアニマル	大森 吾貴彦
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<u>目標取得資格名</u> <u>修得目標</u> 伴侶動物の歴史や品種飼育管理法およびエキゾチック動物の生態について学ぶ。 <u>授業の特徴</u> 実際に動物に触れてから座学で注意点を学ぶ。 <u>授業の進め方</u> 座学・実習 テキスト、プロジェクター、板書を用いて説明する。 ※この科目は、ペットショップでの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週：鳥の特徴について 第2週：鳥の生態について 第3週：鳥の飼育方法について 第4週：チンチラの特徴について 第5週：チンチラの生態について 第6週：チンチラの飼育方法 第7週：フェレットの特徴について 第8週：フェレットの生態について 第9週：フェレットの飼育方法 第10週：ハリネズミについて 第11週：定期試験 第12週：解答・解説	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科/動物看護師科 1 年生			
前期/授業予定回数：週（1 授業分）		後期/授業予定回数：14 週（1 授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
			太田 圭亮
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名<動物看護師統一認定試験></p> <p>修得目標 寄生虫の分類生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎を修得する、感染防御に関わる免疫学の基礎についても学ぶ。</p> <p>授業の特徴 座学</p> <p>授業の進め方 座学</p> <p>※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週：トリコモナス 第2週：トキソプラズマ 第3週：バベシア 第4週：マダニ 第5週： 〃 第6週：ノミ 第7週： 〃 第8週：疥癬 第9週：耳ダニ 第10週：耳ダニ 第11週：毛包中、ツメダニ 第12週：シラミ、ハジラミ 第13週：定期試験 第14週：解答、解説	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		定期試験±平常点 100% ±10点	

ペットプロデュース学科/動物看護師科 1 年生			
前期/授業予定回数： 週 (分/週)		後期/授業予定回数： 15週 (135分/週)	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		動物看護コアテキスト第2巻 動物のからだの構造と機能 (ファームプレス)	皆上 太一
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 修得目標		目標取得資格名<動物看護師統一認定資格> 修得目標	
授業の特徴		動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び生命体として動物の細胞、組織、臓器レベルの各段階で理解するとともに病的変化について学ぶ基礎を確立する。	
授業の進め方		動物看護職統一資格試験の過去問を解答解説し、関連する部分を教科書などの教材で掘り下げます。	
		講義毎に小テストを行い、定期試験の代用とします。 ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		動物看護職統一資格試験過去問より動物形態機能学に属する設問を抜粋これらの解答解説など 第1週 2011年度過去問より抜粋 第2週 2012年度過去問より抜粋 第3週 2013年度過去問より抜粋 第4週 以下予備週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週 2年前期へ続く	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		定期試験±平常点 (授業態度) 100点 10点	

ペットプロデュース学科/動物看護師科 1年生			
前期/授業予定回数： 週（ 分/週）		後期/授業予定回数：15週（180分/週）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		動物看護コアテキスト第6巻 動物看護の実践 (ファームプレス)	皆上 太一
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名＜動物看護師統一認定資格＞</p> <p>修得目標 さまざまな疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害をもつ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を修得する。</p> <p>授業の特徴 動物看護職統一資格試験の過去問を解答解説し、関連する部分を教科書などの教材で掘り下げます。</p> <p>授業の進め方 講義毎に小テストを行い、定期試験の代用とします。 ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>	
授業進行計画		授業進行計画	
		<p>動物看護職統一資格試験過去問より 動物臨床看護学各論に属する設問を抜粋 これらの解答解説など</p> <p>第1週 2011年度過去問より抜粋 第2週 2012年度過去問より抜粋 第3週 2013年度過去問より抜粋 第4週 以下予備週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週</p> <p>2年前期へ続く</p>	
成績評価方法		成績評価方法	
		<p>定期試験±平常点（授業態度） 100点 10点</p>	

ペットプロデュース学科/動物看護師科 1 年生

前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数：15週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		動物看護コアテキスト 第3巻	伊藤 航
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名<動物看護師統一認定試験> <u>科目の必要性・業界での必要性</u> 環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、 人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解 する。</p> <p><u>授業の特徴</u> 座学</p> <p><u>授業の進め方</u> 座学 ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が 実践的教育を行っています。</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週 公衆衛生、人獣共通感染症とは 第2週 病気の伝播、感染経路について 第3週 伴侶動物が関係する人獣共通感染症 （パスツレラ症、レプトスピラ症、 ブルセラ症、猫ひっかき病、 サルモネラ感染症など） 第4週 // 第5週 // 第6週 // 第7週 // 第8週 // 第9週 // 第10週 // 第11週 // 第12週 消毒と滅菌 第13週 動物検疫、感染症新法 第14週 定期試験 第15週 試験解答復習	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		定期試験+平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科/動物看護師科 1 年生			
前期/授業予定回数： 週（1 授業 分）		後期/授業予定回数： 11 週（1 授 90 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
			青木 美帆
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名 <動物看護師統一認定試験></p> <p>修得目標 犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な手技など、動物の内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。</p> <p>授業の特徴 座学、実習</p> <p>授業の進め方 座学で理解してから実習を行う</p> <p>※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週：注射器の取り扱い（アンプル・バイアル） 第2週： 〃 第3週： 〃 第4週： 〃 第5週： 〃 第6週：薬剤の計算と吸引 第7週： 第8週：バイタルサイン 第9週： 〃 第10週：定期試験 第11週：解答と解説	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科/動物看護師科 1年生			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数： 11週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		動物看護コアテキスト6巻 （動物看護の実践）	岩崎 忍
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<> 科目の必要性・業界での必要性 授業の特徴 授業の進め方		目標取得資格名<動物看護師統一試験> 科目の必要性・業界での必要性 外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する。 手術準備や術中・術後管理、麻酔監視、手術の補助、救急救命など動物外科学で学んだ知識の実践を取得する 授業の特徴 より実践的な外科実習と助手としての知識を高める 授業の進め方 模擬手術を行ない助手としての実践感覚を身につける	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週：麻酔薬の種類と管理 第2週：覚醒時の対応と覚醒後の疼痛・入院管理 第3週：覚醒時の対応と覚醒後の疼痛・入院管理 第4週：歯科疾患の処置 第5週：去勢手術の準備と手順 第6週：避妊手術の準備と手順 第7週：整形外科の器具/キャストイング 第8週：腫瘍外科概論と疾患別手術法 第9週：緊急外来対応 第10週：定期試験 第11週：定期試験回答解説	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科/動物看護師科 1 年生

前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数：15週（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
			伊藤 航
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<動物看護師統一認定試験> 科目の必要性・業界での必要性 授業の特徴 座学 授業の進め方 座学		目標取得資格名<動物看護師統一認定試験> 科目の必要性・業界での必要性 動物看護の過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を習得する。 授業の特徴 座学 授業の進め方 座学 ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週 幼齢犬に対する看護① 第2週 幼齢犬に対する看護② 第3週 嘔吐に対する看護① 第4週 嘔吐に対する看護② 第5週 異物に対する看護① 第6週 異物に対する看護② 第7週 中毒に対する看護① 第8週 中毒に対する看護② 第9週 発作に対する看護① 第10週 発作に対する看護② 第11週 発熱に対する看護① 第12週 発熱に対する看護② 第13週 まとめと復習 第14週 定期試験 第15週 解答	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		定期試験+平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科/統一動物看護師 1年生			
前期/授業予定回数： 15週（1授業90分）		後期/授業予定回数： 15週（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		動物看護コアテキスト第3巻	伊東 登
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<動物看護師統一認定試験> 科目の必要性・業界での必要性 授業の特徴 授業の進め方		目標取得資格名<動物看護師統一認定試験> 科目の必要性・業界での必要性 微生物の分類、伝播様式や発症のメカニズムについて学び、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎を修得する。感染防御に関わる免疫学の基礎についても学ぶ 授業の特徴 座学 授業の進め方 座学。ビデオ等も利用する。	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週：感染症とは（1） 第2週：感染症とは（2） 第3週：細菌・総論（1） 第4週：細菌・総論（2） 第5週：細菌・総論（3） 第6週：犬猫の主な細菌感染症（1） 第7週：犬猫の主な細菌感染症（2） 第8週：犬猫の主な細菌感染症（3） 第9週：特殊な細菌・マイコプラズマ・クラミジア 第10週：特殊な細菌・リケッチア 第11週：真菌（1） 第12週：真菌（2） 第13週：復習 第14週：定期テスト 第15週：解答。解説	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		定期試験＋平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科/動物看護師科 1年生			
後期/授業予定回数：週（授業分）		後期/授業予定回数：15週（授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		動物看護コアテキスト 第1巻、第5巻 ファームプレス 他 配布資料有り	皆上 まゆ子
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名 <動物看護師統一認定試験> 修得目標 【概論】 獣医療の歴史や動物看護師の徐公暁倫理について学び、専門職として社会的責務を理解し職業意識を形成する。 【福祉・倫理】 動物愛護や動物福祉、およびその基礎となる生命倫理の考え方について学ぶ。</p> <p>授業の特徴 診療現場での実例、対応を考えながら学ぶ。</p> <p>授業の進め方 難しい内容も、楽しく。 ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週：動物看護倫理 倫理とは 第2週：動物看護者の倫理綱領 第3週：〃 第4週：獣医法・動物愛護法など 第5週：〃 第6週：動物看護業務に関連する法規 第7週：動物看護における業務指針 第8週：インフォームドコンセント 第9週：動物看護概論 動物看護とは何か？ 第10週：「看護」の歴史と定義 第11週：獣医療の歴史 資格制度 第12週：「看護」の対象と目的 第13週：まとめ&総復習 第14週：定期試験 第15週：試験解答復習	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		定期試験 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科/動物看護師科 1年生			
前期/授業予定回数：週（1授業分）		後期/授業予定回数：15週（1授業135分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
			青木 美帆
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名<動物看護師統一認定試験> <u>取得目標</u> さまざまな臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を修得する。 検体検査および生体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する。</p> <p><u>授業の特徴</u> 臨床検査の基本を学ぶ。</p> <p><u>授業の進め方</u> 動物、検体、検査機器を用いて進める。 ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週：採尿と尿検査 第2週： 〃 第3週： 〃 第4週： 〃 第5週： 〃 第6週：血液検査（CBC・生化学検査） 第7週： 〃 第8週： 〃 第9週： 〃 第10週： 〃 第11週： 〃 第12週： 〃 第13週： 〃 第14週：定期試験 第15週：解答と解説	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		定期試験＋平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科/動物看護師科 1年生			
前期/授業予定回数：週（1授業分）		後期/授業予定回数：15週（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
			霜鳥 ゆみ
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名＜動物看護師統一認定試験＞</p> <p>科目の必要性・業界での必要性</p> <p>院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について学ぶ。</p> <p>授業の特徴</p> <p>座学と実演</p> <p>授業の進め方</p> <p>座学と実演</p>	
授業進行計画		授業進行計画	
		<p>第1週：表情</p> <p>第2週：報告、連絡、相談</p> <p>第3週： 〃</p> <p>第4週：姿勢、仕草</p> <p>第5週：受付実演</p> <p>第6週：聞く姿勢</p> <p>第7週：マジックフレーズ（クッション言葉）</p> <p>第8週： 〃 （依頼形、肯定形）</p> <p>第9週： 〃 （yes-but法）</p> <p>第10週：言葉遣い（敬語の練習）</p> <p>第11週：</p> <p>第12週：</p> <p>第13週：</p> <p>第14週：定期試験</p> <p>第15週：試験解答復習</p> <p>※コミュニケーションを目的としたワークも実施</p>	
成績評価方法		成績評価方法	
		<p>定期試験 + 平常点（授業態度）</p> <p>100% ±10点</p>	

ペットプロデュース学科/2年生			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数：16週（1授業135分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		動物看護コアテキスト4 動物の行動と健康管理	今木 康彦
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名<認定動物看護師> <u>科目の必要性・業界での必要性</u> 【産業動物】歴史や品種、飼育管理法、および畜産業などの社会との関わりについて学ぶ 【実験動物】歴史や品種、飼育管理法、実験動物との関わりについて学ぶ 【日本の野生動物】種類と保全、動物園等の展示動物について学ぶ <u>授業の特徴</u> 各産業動物のごとの生理や習性などを理解し、動物福祉に基づいた適正な飼育管理を学ぶ <u>授業の進め方</u> テキスト、資料等を使い授業を進めていき、さらにビデオをみて学びを深くしていく ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週 産業動物とは何か 第2週 産業動物として用いられる動物種 第3週 動物福祉「5つの自由」 第4週 体のしくみ 第5週 特徴的な体のしくみ：胃・腸管 第6週 特徴的な体のしくみ：歯 第7週 特徴的な体のしくみ：生殖器 第8週 給餌・栄養 第9週 繁殖・育成 第10週 健康管理 第11週 産業動物の代表的な疾患 第12週 産業動物の代表的な感染症 第13週 家畜伝染病対策（ワクチン、消毒、滅菌） 第14週 飼育環境・飼養衛生管理基準 第15週 農場HACCP 第16週 畜産業界を取り巻く情勢	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	